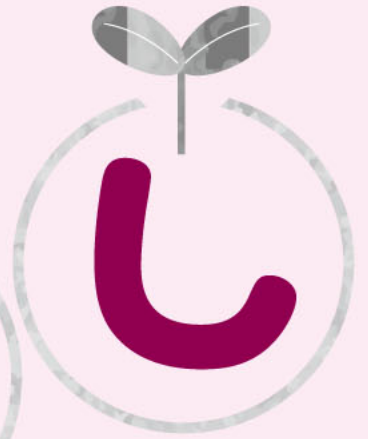


●/人 広報



組合員皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

1 月号
NO.627



新春を迎えて

伊達市農業協同組合

代表理事組合長 佐藤 哲

新年明けましておめでとうございます。
 組合員の皆さま方にはご家族共々に新年を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。
 また、昨年は農協事業の運営に対し、ご指導ご協力で支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。
 新春を迎えるにあたり、昨年を振り返りますと、早魘、低温、高温と短期間での異常気象が頻発しました。生育期間の長い小麦やビートはおおむね良い作柄となり、特に小麦に関しては稀に見る豊作となりました。しかし、短期間での異常気象は野菜生産には大きな障害となり全国的な野菜の過剰生産等もあり、組合員の皆さまには厳しい結果となりました。本年は農畜産物にとって良い年となるように願うばかりです。

農協事業においては信用事業が農協改革の柱としての変革が進められ、今後厳しい状況が続くと思われまます。信用事業、共済事業をはじめ店舗、購買、販売、営農指導事業等の農協事業は組合員の皆さまにとって、なくてはならない事業と考え、総合農協継続の中、組合員の皆さまの付託に応えられるよう役職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも組合員の皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、どうか新しい年が組合員の皆さまにとって最良の年でありますことをご祈念申し上げ年頭のあいさつといたします。

謹賀新年



旧年中はいろいろとお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願ひ致します

令和2年 元旦



副組合長
松本 喬一



理事
矢内 陽條



理事
近井 一夫



理事
唐澤 健康



理事(学識経験)
上田 孝弘



理事(学識経験)
草野 英男



新春を迎えて

伊達市農業協同組合

代表監事 廣瀬啓悦

組合員をはじめ、ご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。

新元号「令和」として迎える新春をご家族共々、ご健勝で迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より農協事業のご利用、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。本年も引き続きご支援お願いいたします。

昨年も全国各地では様々な気象災害が発生し、真夏の猛暑、梅雨期の大雨、関東付近を直撃した台風など報道では「ただちに命を守る行動」を取るよう呼びかけられるも、多数の命が奪われました。また、農作物等約3,800億円以上の被害をもたらしました。亡くなれた方々にお悔み申し上げ、被災地の一刻も早い復旧と復興を心から願うところです。

当JA管内は春耕期から少雨傾向の好天が続き、幸い穏やかな天候で経過し、青果物については全道的な豊作による価格低迷が長引いたことで昨年よりも厳しい1年となりましたが、自給飼料を含む農産物は安定的な収穫となり、農産畜産部門では総じて順調な営農年となりました。

また、組合員の高齢化や担い手不足の中、伊達市との共同事業として展開している新規就農支援事業により6組の方々が研修を終え、市内各地で就農し本年度で全員の営農が開始されます。研修生を受け入れていただきました組合員をはじめ、ご家族の皆様のご尽力にお礼申し上げます。各自が目指す経営に努力していただきJAとしてもサポートしていく方針ですので地域の方々のご支援ご指導もあわせてお願いいたします。

令和元年度の農協事業も2か月余りとなりましたが、共済事業、店舗事業が大変厳しいことから計画を下回る事業利益を予定せざるを得ません。特に店舗事業は固定資産取得時に示した改善計画最終年度でしたが改善が思ったように進んでいない状況であることから監事会として厳しく指摘しているところです。

理事会において今後の事業方針を決定し、組合員の理解を求めていき、役員も本年5月の総代会までの任期ですので、集大成として少しでも計画に近い決算と来年度以降への計画作成に向け、役職員ワンチームとなり、全力で取り組みますのでご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。

TPPに続き、新たに日米貿易協定が締結され農業情勢が変化する中、本年も営農が開始されます。本年の組合員の皆様とご家族のご健康と実り豊かな出来秋を心から祈念し新年の挨拶と致します。



理事
舟迫 昌光



理事
小野 順孝



理事
遠藤 活典



監事
石橋 寿一



監事(員外)
山崎 博司



年頭のご挨拶

胆振農業改良普及センター

所 長 北 島 潤

令和2年の年頭に当たり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、新たに輝かしい新春をご健勝にて穏やかに迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃の普及事業に対しまして関係機関の皆様はもとより、組合員の皆様から温かいご支援とご協力を賜り篤くお礼申し上げます。

さて、令和元年を振り返りますと、冬期間の積雪と融雪は平年並みに推移し、春耕期作業は好天に恵まれた順調に進みました。農耕期全般を通し若干降雨は少ないものの、気温や日照は平年を超え台風などの被害も大過なく終わりおおむね作物にとって良好な1年でありました。

作柄につきましては、水稻・畑作物・野菜類・飼料作物とも平年並からやや良であり、稔り多き出来秋を得られましたのは皆様の営農に対する不断の努力の賜と推察いたします。

今日の農業取り巻く情勢は、国内においてはライフスタイルの変化を背景に、本物志向な食へのこだわりが広がりを見せております。また国外観光客の行動様態も成熟化し、西胆振ならではの食文化や伝統的食産業への志向性が高まっています。

更には生産環境では農業ICTの活用、GAP認証による生産管理、HACCPによる食品衛生管理など、生産構造の大きな変革が求められています。

国際情勢を振り返ると、グローバルな経済連携協定が数々発行され、可能性とリスクがあい半ばで混在し、大きな変動に対し多角的な経営対策が求められています。後に振り返ったときまさに大きな転換点となる予感をはらんでいます。

胆振農業改良普及センターでは、西胆振地域

の農業を支える多様な担い手の育成、多様化する食事情に対応した生産力の強化、高付加価値を創出する農業・農村作りを基本課題とし関係機関の皆様と連携しながら、「地域の目となり耳となり」「農業者のそばに立ち」「地域の知恵袋」となるよう、地域農業の維持・発展を目指して活動を進めて参ります。

最後に、本年も皆様にとって稔り多き年となりますよう、ご健勝を祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

昨年中は格別なるお引き立てを頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

尚、本年も変わらぬご愛顧の程お願い申し上げます。 職員一同



- 登別支所
- 〈内部監査室〉
- 生活課
- 農機燃料自動車課
- 生産資材課
- 〈購買部〉
- 青果課・営農指導課
- 農産課・畜産課
- 〈営農生産部〉
- 営農融資課
- 金融共済課
- 〈信用部〉
- 総務課・審査課
- 〈総務部〉



令和2年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 飛田稔章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せて地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部時き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年2月1日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1,100億円の生産減少額のうち3~4割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行ってござ

す。今後も動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信すること目的としてJA北海道大会実践フォーラムを開催したところで

引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み基本目標の達成につなげてまいります。

結びになりますが、今年の干支は庚子（かのえね）です。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとって輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。



■ スマート農業冬季研修会 (胆振西部地区)

12月5日(木)、ホクレン苫小牧支所営農支援室によるスマート農業における「ホクレンRTKシステム」等の説明会を開催しました。

J A伊達市管内とJ Aとうや湖管内の生産者19名、各J A職員6名、胆振総合振興局胆振農業改良普及センター、伊達市などの市町村職員ら関係機関を含めた45名が参加し、伊達市カルチャーセンターで行われた説明会ではJ Aようてい留寿都支所に設置しているホクレンのRTK基地局から直線距離で約40キロ離れている室蘭地区でも位置情報精度は非常に高く誤差3センチ以内でしたが、樹木や障害物がある場合には位置情報取得にかかる時間が増え、誤差8センチ程度の場所もありましたが、運用可能という結果でした。

その後、J A伊達市穀類等乾燥調製施設前にてGPSトラクターと最新の自動航行ドローン



説明を真剣に聞く参加者

の「XAG P-30」の実演会が行われました。

参加した方からは「若い世代に課された問題は少人数での効率的な農業を実践すること。準備することはたくさんある」とスマート農業の実践に向けて話していました。

J A女性部



■ 令和元年度J A日胆地区 女性部研修会並びに 第57回日胆地区 家の光大会

12月2日(月)～3日(火)、J A伊達市女性部(宍戸恵美子部長)は登別グランドホテルにて令和元年度J A日胆地区女性部研修会並びに第57回日胆地区家の光大会に参加しました。

日胆管内9 J Aの女性部員83名が一堂に会し、家の光協会普及文化次長の廣井氏より『家の光情報報告及び家の光記事活用』の発表や『女性部組織・女性部活動とは』と題し、人・組織・地域がさらに元気になるために、「食と農」をテーマにした活動や農家の女性こそ「食農教育」のプロ、「食の現場」と「農の現場」に精通している強みを組織内外にアピールすることが必要と講演しました。

また、ラフターヨガインターナショナルの加藤氏による『笑って元気 笑いヨガ』を実施しました。冗談やユーモア等に頼らず、理由なく



笑いヨガのようす

「ただ笑う」だけの健康法(体操)で、ヨガの呼吸と笑いを組み合わせることで多くの酸素を取り込み元気になります。笑いヨガを実践して大いに笑った参加者はストレスを発散して気持ち良さそうな顔をしていました。

研修会終了後は、懇親会が行われ、他地区の部員の方々と女性部活動や地域の農業情勢について情報交換を行うなどして交流を深めました。

■ J A伊達市11部会 定期総会及びJ A伊達市 野菜生産部会協議会定期総会

12月10日(火)、伊達市ホテルローヤルにて11部会及び野菜生産部会協議会の定期総会を開催しました。11部会はそれぞれ部員数十名が出席し事業報告や収支など議案も可決されました。

最後に行われた第42回J A伊達市野菜生産部会協議会(大滝真会長)の定期総会では松本喬一副組合長が「今年の道内は気候が良く続いたが、全国的には災害が続いた。J A伊達市としても野菜産地の育成を図っていく。」と挨拶しました。

令和元年の野菜取扱量は3農協合併時の平成10年より、約40%まで減少しているのが現状で野菜産地としての再建は重要な課題で、J A伊達市では産地を守るため組合員に寄り添った事業運営と改革を進めています。

野菜生産部会協議会(会員163名)は11部会全てを統括し、道外市場訪問・視察や伊達野菜PR販売活動など行っています。振興作物のブロッコリーやキャベツ、トマト、ほうれん草を中心に生産力・販売力強化を行い農家所得の向上を目指しています。

異常気象が続く日本で品質・収量の低下を最小限するための栽培講習会や先進地視察に取り組みしており、地産地消の拡大や消費者のニ



野菜生産部会協議会総会の様子



イチゴ部会総会の様子

ズに 대응するべく、安心・安全な農作物の生産を継続していく方針です。

地元、宮城県亶理町へ



丸子裕人さん(下段左から4人目)

丸子裕人さん

イチゴ生産者の丸子裕人さん(40)は平成23年3月11日の東日本大震災で自宅やビニールハウス18棟などが流され、平成24年の夏に伊達市の支援事業を知り移住してきました。移住してきてから8年の月日が経ち、イチゴ研究会長や新規就農者への指導を行い、周りからの信頼も厚く、青年部や様々な試験栽培を中心となって取り組んできました。

令和元年12月末に亶理町へ戻ってイチゴの生産を行うことになりました。亶理町でも美味しいイチゴの生産に尽力し、東北の農業を活気づけてくれることを心から願っています。

令和元年度 年末年始営業日

	本 所		登別支所		クミカン 窓 口	グリーン センター	農機燃料 自 動 車	マーケット	授精生乳 検 査
	金融・共済	ATM	金融・共済	ATM					
12月30日(月)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月31日(火)	×	×	×	×	×	×	×	9:00~17:00	○
1月1日(水)	×	×	×	×	×	×	×	×	○
1月2日(木)	×	×	×	×	×	×	×	×	○
1月3日(金)	×	×	×	×	×	×	×	9:30~17:00	○
1月4日(土)	×	×	×	×	×	×	×		○
1月5日(日)	×	×	×	×	×	×	×	○	○
1月6日(月)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和2年1月6日(月)より、全業務平常営業となります。

休業日

地区別組合員懇談会

日	時	地 区	会 場
1月14日(火)	10:00	黄 金	は ま な す 館
	13:30	稀 府	中稀府会館(旧農村婦人の家)
1月15日(水)	9:30	関 内	関 内 福 祉 会 館
	13:30	中 央	本 所 2 階 会 議 室
1月16日(木)	9:30	東	未 来 館
	13:30	長 和	ふ れ あ い 館
1月17日(金)	10:00	室 蘭	石川町地域交流センター
	13:30	登 別	登別支所2階 会議室
1月18日(土)	9:30	有 珠	白 鳥 館
	13:30	全	本 所 2 階 会 議 室

謹賀新年



2020 新春
初売りは9時30分オープン!



JA伊達市の公式

フェイスブック

Facebook
始めました。

農業・地域に係る
様々な情報を発信して
いきますのでよろしく
お願いいたします!

(担当:営農指導課)



JAの家庭雑誌

お申し込み受付中

あなたの元気が

わたしの元気

家の光

●普通月号
税込 **629** 円

●付録月号
(1・4・5・7・9月号)

税込 **922** 円

●付録月号
(家計簿付12月号)

税込 **1,027** 円

お申し込みはJAへ

農と食の
総合雑誌

地上

GOOD EARTH

定価(税込み) / 普通月号 …… 618円
付録付号(4・11月号) …… 680円

第45回 Aコープチェーン農協連合展示会

新春華秀苑

おかげさまで45周年…

大総合展

◇主催/Aコープチェーン・北海道 ◇後援/ホクレン ◇協賛/華秀苑株ダイカ

と き/令和2年1月24日(金)~27日(月)

【営業時間：AM9:00~PM9:00 27日は午前中まで】

と ころ/登別グランドホテル 3階大会場

バス時刻等は農協係員がご案内致します。

きもの・婦人服・宝飾の祭典

【展示品】コート・バッグ・メガネ・オーダー靴
・ウィッグ・健康寝具



ご参加者特典



- 登別グランドホテルに1泊ご優待致します。
宿泊費の一部をご負担いただきます。(当日会場にて)
 - 宿泊の方…7,000円(金・土・日、3日とも)
※通常3~4人で1部屋です。(2人部屋もご用意できます)
 - 宿泊ご希望のお客様は1月10日(金)までにお申し込み下さい。
 - 日帰りの方…無 料
 - 会場までバスにて無料送迎致します。
 - 70,000円(税別)以上お買い上げの方に負担金全額返金。
 - 夕食バイキング・『竹野留里』歌謡ショー・お楽しみ大抽選会。
- ご購入予定商品のある方は、是非この機会をご利用ください。

★参加について詳しくは「くみあいマーケット」にお問い合わせ下さい。

◎お申し込み期限 令和2年1月17日(金)まで TEL 0142-23-5751 (担当 岩井)

日帰りの方、自家用車の方は期間中ご都合の良い日をお申し付け下さい。



発行 伊達市農業協同組合(営農生産部編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL 0142-23-2181
E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp

